

声をかけ、支え合う

人が大切にされる町づくり

倉敷東幼

「そうだ！小学校に行ってみよう！」

倉敷東幼稚園では、子ども達の経験や人との関わりを豊かにし、スムーズな就学につなげたいという思いから、倉敷東小学校との様々な連携交流活動に取り組んでいます。今年度は、小学校の図書館利用や校庭遊び、給食試食会や東小祭りへの参加、生活発表会や観劇会の観覧等の活動を行っています。2学期には、5年生が幼稚園に来て園児達と草取りをしてくれました。初めての体験でしたが、小学生のお兄さんお姉さんに手伝ってもらいながら仲良く一生懸命に活動しました。終わった後の園庭も子ども達の笑顔もとても晴れやかでした。今後つながりを大切に交流活動を進めていきたいと思っています。



万寿幼

園児が楽しみにしている秋の行事「万寿の森」が11月10日(金)にありました。秋の自然物を使ってリースやワッペン、壁掛け、マラカスなどをつくるコーナーや年長児がつくった忍者屋敷コーナーなどで、本園の園児、大内保育園万寿分園の園児、未就園児が楽しく笑顔で交流しました。こうした取り組みの中で2つの園の園児が友達としてふれあえたり、小さいお友達への思いやりが育まれたりすると思います。未就園児の保護者から「優しくしてくれてありがとう。」と声を掛けられ嬉しそうな園児の姿もありました。楽しみな次回の交流会は外遊びを計画しています。



倉敷西小

ふれあい体験学習

10月28日(土)、地域の「名人」の方々35人を講師にお招きし、「ふれあい体験学習」を4年ぶりに実施し、「投げごまづくり」や「お茶とお花を楽しもう」など12の講座を開催することができました。子どもたちは自分で選んで参加した講座で、「名人」の方々の指導を受けながら、みんな生き生きと活動させていただきました。

「ようこそ昆虫ワールドへ」の講座では、虫取り網を持って向山公園に出掛けて行き、採集した昆虫の名前や特徴などを「名人」の方に教えてもらいながら楽しく活動し、最後に大きなカマキリを捕まえた時には大歓声が上がりました。



「お茶とお花を楽しもう」の講座

東中

第43回サマーコンサートは9月17日に、音楽部 OB・OG や教職員も参加して、ステージと客席が一体となって盛り上がることができました。東中学校区青少年を育てる会クリーン作戦は10月14日、約320人の地域・保護者の方々に参加していただき環境を整えることで、達成感とともにすがすがしい充実感が得られました。第77回体育会は10月28日に開催されました。チーム東中全員が一丸となって取り組む姿を保護者の方に観覧していただくことができました。

様々な行事が4年ぶりの通常開催となり、励まし支え合い、共感し寄り添い、人と関わることの楽しさや、温かさなどを味わうことができました。



人権学習推進委員会 研修視察

岡山市人権啓発センター・渋染一揆資料館・岡山城

令和5年8月23日(水)、4年ぶりに東・西中学校区人権学習推進委員会合同の研修視察を行いました。東中学校区からは5名が参加しました。岡山人権啓発センターで「渋染一揆」についてお話を伺い、渋染め一揆資料館へ移動。午後は、一昨年「令和の大改修」を終えた岡山城を見学し、多くの学びを得る機会となりました。

参加者からは、「渋染一揆」は岡山県で起こったことは知っていましたが、岡山市でというのは初めて知りました。」「この一揆は力ではなく、話し合いで解決していったことに感心しました。」等の感想が寄せられました。

次回、一人でも多くの方の参加をお待ちしています。



人権だより

第47号

あおぞら

発行 令和 6年 1月25日
東中学校区人権学習推進委員会

事務局 倉敷東公民館
倉敷市浜町2-2-30
TEL/FAX 425-7774



とき

2月18日 日
9:30~12:00

ところ

倉敷東公民館

入場
無料

プログラム

開会 9:40

- アンサンブル演奏 (東中学校 音楽部)
・ 9:45 ~ 10:15
- オカリナ演奏 (オカリナを楽しむ会)
・ 10:20 ~ 10:40
- 人権作文発表 (東中学校 生徒)
・ 10:45 ~ 11:00
- コーラス (倉敷コール・クライネ)
・ 11:05 ~ 11:25
- アンサンブル演奏 (東中学校 音楽部)
・ 11:30 ~ 12:00

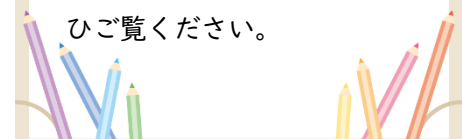
閉会

同時開催

マスコットキャラクター
ぬり絵展

令和6年2月14日(水)~24日(土)

倉敷東幼稚園、万寿幼稚園、
万寿東幼稚園、大内保育園万
寿分園の園児による「てるる
ちゃん」のぬり絵展です。ぜ
ひご覧ください。



人権教育講演会

「戦争のない平和な生活を維持するために」

「原爆と戦争展」を成功させる岡山の会 会員
秋田 眞達 氏

令和5年10月7日(土)、「原爆と戦争展」を成功させる会会員 秋田眞達先生をはじめ、5名の方による「令和5年度 人権教育講演会」を開催しました。「戦争のない平和な世界を実現するために」という演題で、終戦間近の学徒動員で、呉市の空襲や広島への原爆投下を目撃した秋田先生の体験からの思い、大岸さんによる紙芝居「あざみの花」、歌「原爆を許すまじ」と行われました。会場には、20枚のパネルも用意され、当日39

人の参加がありました。

参加者からは、「戦争を語り継ぐこと、知ってもらう

こと。それが今大切なことだと思います。」「これまでの戦争を知る人が語り継いでくれる事、戦争を知らない世代にも分かってほしいです。」「改めて平和の尊さを思い知らされました。今だ世界の至る所で紛争が起きているのは非常に残念です。どのような形であれ、次の世代に伝えていく必要があると思います。」「戦争とは思えない事。欲によって始まる。人は感謝に生きるべきだと思います。」等多くの感想が寄せられました。



京都フィールドワークに参加して

京都フィールドワーク(9月30日から10月1日)に参加しました。人権学習の一環で、宇治市にあるウトロ平和祈念館をメインに平等院鳳凰堂、醍醐寺三寶院、京都市学校歴史博物館を訪れました。「ウトロ」の起源は、1940(昭和15)年から日本政府が行った「京都飛行場」建設工事に集まった朝鮮人労働者の飯場です。建設工事の従事者2千人の内、千三百人が朝鮮人で、太平洋戦争で空襲を受け工事は中断したまま終戦を迎えました。金銭面や様々な理由で帰国できず、住み着いた朝鮮人労働者の飯場跡が、「ウトロ」集落の起こりです。祈念館には当時の建物(まさにバラックです)がそのまま保存されています。

この地区は、都市下水道の整備不良と、周囲に比べ低い地盤、私有地のためインフラ整備が遅れ、大雨が降るたびに地区全体が浸水していました。そのほかにも、土地の明け渡し訴訟など様々な困難に見舞われます。まさに日本社会から「置き去りにされた」まちです。しかし、困難に直面しながらも生活基盤の整備を求めて声を上げ続けた人々と、ウトロに寄り添ってきた日本・在日・韓国の市民が協力して土地を買い取り、人々の尊厳と生活を守ってきた歴史のあるまちということを学びました。

2021年には朝鮮民族に偏見を持つ若者が放火し、住宅2棟を含む5棟が焼失しました。「ヘイトクライム」によるものです。犯人は捕まりましたが「事件は許されないが、犯人が事件を起こす前にここにきて話ができたら、こんな事にはならなかったのに」と話す「ウトロ」の人達のやさしさと懐の広さを感じました。

小橋 敏光



令和5年度 人権ポスター・標語作品

東中学校区人権学習推進委員会



東中学校3年 中山 開理



倉敷西小学校6年 奥 美琴



倉敷東小学校6年 竹崎 結衣



万寿小学校5年 山田 純

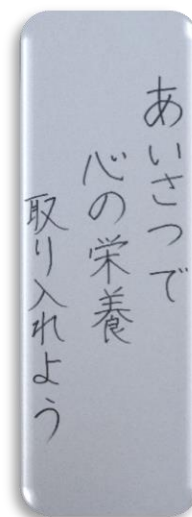


万寿東小学校1年 児玉 勝来

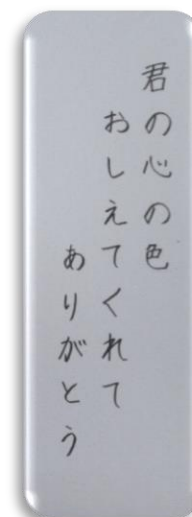
令和5年11月9日(木)～12月10日(日)まで、ポスター・標語全60作品を展示しました。
たくさんの方に、見に来ていただきありがとうございます。



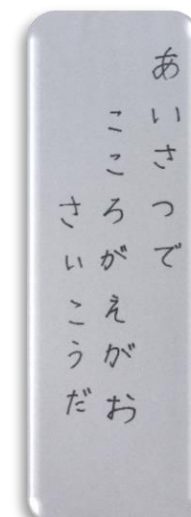
てるるちゃん



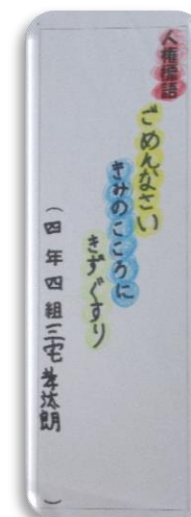
東中学校2年 貝原 花佳



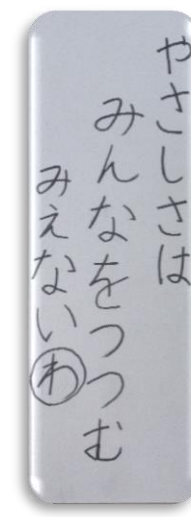
倉敷東小学校6年 小坂 日和鈴



倉敷西小学校4年 柚木 連



万寿小学校4年 三宅 孝汰朗



万寿東小学校4年 朝川 裕梧